

# 2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(47)番 福山市立駅家小学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュニケーション力	協調性
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	自分の考えを持ち、他者に対してその考えを積極的に伝える児童	自分とは異なる他者の考えを受け入れ、ともに課題を解決しようとする児童

## 2 授業の現状

**【成果】**ペア学習やグループ学習により、お互いの意見や考えを述べ合い、聴き合う場の設定をした授業  
**【課題】**教師の問い直しにより、自分の考えを、理由や根拠を明らかにしながら説明し、発言をつないだ授業展開  
 ・ねらいに迫る発問を厳選し、教師が考えを深めさせる場面を意識した単元構成の工夫

転換

## 3 めざす授業の姿

・児童の発言やつぶやきを「取り上げ」「つなぎ」「問い返す」ことで学び合いを活性化させた授業  
 ・児童が考えを深める場面や、教師が考えを深めさせる場面を意識した単元構成や授業づくり。  
 ・児童がどのような思考をしたのか、「思考の跡」がわかる表現を目指した授業

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①児童が自ら決めたり、選んだりできる課題設定や単元構成の工夫。【主体的な学びの実現】 【指標】算数科と図画工作科を中心に、一単元で一時間以上は児童に課題設定をさせ主体的な学びを促す。					
②互いの意見や考えを述べ合い、新たな発見や疑問に出会えるペア学習、グループ学習の設定【対話的な学び】 【指標】国語科や算数科を中心に単元で一時間以上思考の場面で、取り入れる。					
③児童の発言やつぶやきを「取り上げ」「つなぎ」「問い返す」ことで「学び」の見える授業への転換。【深い学びの実現】 【指標】算数科を中心に、児童のつぶやきから思考を促す問い直し発問を工夫し、学年間で授業を見合う。					

## 5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
	A 問題	B 問題
国語	70(-3)	52(-7)
算数(数学)	64(-2)	54(-2)
理科	62(-1)	
	自分にはよいところがある	82.5
	先生はよいところを認めてくれる	77.5
	将来の夢や目標を持っている	89.1
	人の役に立つ人間になりたい	96.7

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査) (%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	84.1
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	68.1
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	69.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	75.2

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(3)月末現在
暴力行為	1.3
不登校	1.2

## 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 21/48	・男女共に反復横跳びが県平均上回っていた。 (県平均を上回った項目 男子:2/6)	・男女共に反復横跳びを重点に取り組む。 (県平均を上回る項目 男子:5/6)	・体力テスト実施日の週、体育の授業において、ポイントをおさえた指導をする。
(女子) 23/48	(県平均を上回った項目 女子:1/6)	(県平均を上回る項目 女子:4/6)	
目標値	・反復横跳びで、全学年全項目を上回る。(県平均を上回る項目 男子:5/6, 女子:4/6) ・県平均を上回る項目数を前年度より増やす。(全体目標値 48/96にする。)		

## 福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	85.2	14.8
仕事に充実感がある	70.3	29.7

## 児童生徒アンケート(%) (3)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	87	13
自分の考えは、認められている	77	23